

議会報告会での質疑・意見及びその回答

別紙3

平成25年11月17日(日) 若松会場(若松市民会館)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 一般会計の市債残高は9,703億円ということだが、特別会計や企業会計をあわせるとどれくらいあるのか。</p>	<p>市の会計には、一般会計、特別会計、企業会計の3つがありますが、特別会計と企業会計の市債残高を合わせますと、総額1兆3,700億円あまりとなっています。</p>
<p>② 家の持ち主が亡くなって放置された家があるが、こういった家はどう考えているか。</p>	<p>老朽危険家屋で、所有者が亡くなっているケースは市内でも多くあります。相続者と市が連絡を取り合って善処してもらうように話し合いを進めています。市も一生懸命取り組んでいますが、ただ一朝一夕に片付かないのが現状です。市では空き家対策検討委員会を設置し、有効な対策がとれるように進めております。</p>
<p>③ 山ノ堂町は住宅地開発が40年前に行われ、住宅と住宅の間の道路が非常に狭い。最近、崖崩れがあり地域住民が困っているが、その場所が民有地である。市道として認めてもらう基準を改善してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として承っております。</p>
<p>④ 敬老祝金について、若松区は高齢化率27.3%、深町校区では33%であり、もっと高齢者を大事にするとの考えで、逆に拡充してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として承っております。</p>
<p>⑤ ごみステーションのネットについて、以前は市が無料で配布していたが、現在は半額の補助である。カラス対策のために市民に無料配布してもらいたい。</p>	<p>ごみステーションのネットについて、環境局へ申し込みをしていただければ、1回目は無償で配布いたします。その後は半額補助になりますが、3年に1回は更新があると聞いています。環境局業務課でネットの履歴を確認していただければと思います。</p>
<p>⑥ ごみにネットをしてもカラスは来る。カラス対策について、実のある対策をとってもらいたい。また、ネットがボロボロになったので、折りたたみ式の簡易集積容器を設置したいとお願いしたが、それは資源化物専用だと言われた。集積容器をより丈夫に作ってもらえれば、カラス対策にもなるのではないか。</p>	<p>環境局が12月を目処に市内3万4千箇所のごみステーションを調査することですので、その調査結果を踏まえて検討していきたいと考えております。</p>

平成25年11月17日(日) 若松会場(若松市民会館)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑦ ギラヴァンツ北九州について、福岡のアビスパと合併すべきであると思う。アビスパの財務状況が問題になっていたが、ギラヴァンツの財務状況はチェックされているのか。北九州市には上場企業が数社しかなく、福岡の企業に比べて規模が小さいので、財政的支援が厳しいと思われる。パブリックコメントの際に、24年2月に出した整備事業はコスト試算が年間1億円であったが、8月15日の市政だよりでは、借地料等で1億5千万円と50%も増えている。政治というのは、将来を見据えた判断が必要と思う。熱烈なサポーターだけで経営は成り立たない。</p>	<p>合併するべきではないかということについては、ご意見として承っておきます。財務状況については市がチェックしています。ギラヴァンツ北九州はJ2クラブの中では収入が少ないので、引き続き支援が必要であると市は考えています。しかし、議会の中では自立したチームとして支援のあり方を再検討すべきではないか、という議論もありました。</p>
<p>⑧ 本市の学力が低い理由と、それに対する議論の方向性を教えて欲しい。母子家庭の母親が、いつも仕事をしながら子どもを一生懸命育てているという厳しい状況などもあると思うのでお聞きしたい。</p>	<p>25年度の学力状況調査と同時にアンケートを実施しています。その結果、北九州市の1番大きな問題だと思われるのが、家庭学習の時間が少ないということでした。そこで、学校での放課後授業と家庭学習の推進を行っていくと考えております。基礎の問題を繰り返し行い、基礎学力を上げて行くこと、学習内容と学習量を高めることが1番良い方向だろうと考えております。</p>
<p>⑨ 北九州市の財政を見ると、生活保護費が非常に増大している。心配なことは、市の生活保護の担当者のモチベーションが非常に下がっていることである。これまで一生懸命仕事をしてきたのに、新聞等でたたかれて、人ではないような書かれ方をされている。担当者のモチベーションが下がり、申請者全員に支給してしまえば、市の財政が破綻してしまう。議員の方々には、市の生活保護担当者が報われるような施策にご配慮いただきたい。</p>	<p>政令市以外の福岡県下では、生活保護の申請に事務所へ行った場合、100%の人が申請をし、生活保護が認められるのが66%です。北九州市では、保護の申請に行った人のうち、申請書を出す人が35%で、出した人の中で、申請が認められるのはほぼ100%となっています。北九州市では、生活保護の申請に行った人の中で、生活保護が認められる人の割合が福岡県の他の郡部に比べて、低くなっているのが現状だと思われます。</p>
<p>⑩ 現在、若松区で会合もしくは懇親会を開催する場合、200名以上の人を集めて会合する場所がない。ボートレース場の東棟の中に中央ホールがあり、ボートレースが開催されていなければ使用できるということになっている。その東棟が平成26年から耐震工事のために、営業を停止する。ぜひ、予算を計上し、そこに200名以上の会合ができる施設を作ってほしい。</p>	<p>貴重なご意見として承っておきます。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年11月18日(月) 小倉南会場(富士見ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 防犯灯は車道を照らしており、歩道を照らしていないことが多い。 また、体育館や大学などの市の公共施設の周囲は防犯灯がなかったり、常時点灯していないところがある。 防犯灯の数だけを問題にするのではなく、効果的な防犯灯の設置をお願いしたい。</p>	<p>街灯には防犯灯や生活街路灯、道路灯など様々な種類があり、それぞれ所管が異なります。頂いたご意見は、市の施策に反映できるよう検討したいと思います。</p>
<p>② 本市の学力テストの結果が小学校44位、中学校45位となっているが、なぜかという議論が教育水道委員会であったのか。 また、高知県の平均正答率が上がっている、という事例が出たが、高知県の1学級の人数について教えて欲しい。 若い親は共働きが多く、子どもの家庭学習を点検する時間がないと聞く。子どもが帰る時間に親がいて、家庭学習をじっくり見てあげられる親がどのくらいいるのか、教育水道委員会で調べていただきたい。 持続可能な仕組みづくりに予算をいうのであれば、1クラスの人数を少なくして、子どもが学校の授業だけで理解できるようにしてほしい。 また、子どもは遊びながら学んでいくものである。現在の施策は「遊び」の観点が抜けている。教育水道委員会で、どのような議論されているか聞きたい。</p>	<p>今年度の学力状況調査と同時にアンケートも実施しました。その結果、本市は家庭での学習時間が短いということがわかりました。高知県では家庭での学習時間が長く、その成果が出ているとの結果でしたので、本市では家庭学習の時間は重要と考えています。しかし、家庭学習だけではなく、学校での授業内容の見直しやマイスター教員制度による教員の資質向上にも取り組んでいます。 また、高知県の1学級の人数は、平成23年度時点で、研究指定校については、小学校1,2年生は30人学級。3,4年生は35人学級。中学校1年生は30人学級です。 なお、「遊びながら学ぶ」ということに特化して、教育水道委員会で議論したことはありません。</p>
<p>③ 生活保護行政について、ギャンブルという言葉が出てくるが、ギャンブルの範囲について議員と当局で共有しているのか。 ギャンブルの定義について、担当者が事務を行ううえで、もう少し議論が必要ではないか。</p>	<p>確認はしていません。一般的にギャンブルということで議論しています。ギャンブルの定義については、ご意見として承っておきます。</p>
<p>④ ギラヴァンツ北九州について、球技場を整備するのに約90億円をかけるのなら、チームを強くするために、そのお金を使ったらどうか。たくさんのお金をかけて、いい監督やいい選手を呼べば強くなると思う。このようなチーム強化についての議論はあったのか。</p>	<p>本市はギラヴァンツ北九州に年間で補助金6千万円、その他様々な事業に5千万円を支出しています。現在の支出のあり方が、チームにとって有用なのかどうかという議論はありました。 9月定例会の決算特別委員会の議論の中では、チーム強化の質問はありませんでした。9月以前に、チーム強化を含めた質問は本会議でもありましたので、ホームページで検索していただければと思います。</p>

平成25年11月18日(月) 小倉南会場(富士見ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑤ 2月に行われた北九州市制50周年記念／北九州市・仁川市姉妹都市提携25周年記念試合に行ったが、ギラヴァンツ北九州の選手は試合後、自チームのサポーターにだけ挨拶をして帰った。相手の仁川の選手たちはギラヴァンツ側のサポーターにも挨拶をし、ユニフォームもあげていた。 チームの強さも必要だが、大人のチームとしての誇りを持ってもらいたい。市からお金を出す以上、そういう話もしてほしい。</p>	<p>シーズン終了後の12月にチームと議会との間で交流する機会があると思いますので、貴重なご意見として、チーム関係者に機会を捉えてお伝えしたいと思います。</p>
<p>⑥ 新球技場建設は議会でも決まったことなのだろうか。</p>	<p>議会の中でも様々な議論がありましたが、体育協会から出された(新球技場整備の早期着手に関する)陳情が賛成多数で採択され、また、9月定例会に提出された補正予算が同じく賛成多数で可決されました。</p>
<p>⑦ 小倉南区の曾根地区には、数百人規模で人が入る施設がない。富士見ホールのような大きな施設があれば、色々な行事もでき便利だと思う。</p>	<p>貴重なご意見として承っておきます。</p>
<p>⑧ 市議会だよりや今日の発表資料には、「議員の質問」としか記載されていない。個人名を発表しにくいのであれば、会派名だけでも書いていただくと参考になる。</p>	<p>現在の北九州市議会だよりは、発言者の名前はわかりません。福岡県議会や他の政令市の議会の広報物には、会派名や議員名が書いてあることは承知しています。現在、開かれた市議会を目指そうという取り組みで、議会内で検討が行われておりますので、ご意見は今後の議論の参考にしたいと思います。</p>
<p>⑨ 小倉南区に新しく図書館が建設されるということで、非常に嬉しい。規模についてははっきりしないが、建設予定地が狭い。八幡西区のひびしんホールの横の図書館くらいの規模の図書館ができてほしい。</p>	<p>小倉南区に地区図書館を建設する、という動きがあるのはご承知のとおりです。予定地の案は出ていますが、本年度は利用者の方を中心に、市民の皆さんの要望を聞いている時期だと思います。建設までに時間がありますので、教育委員会や議会へご要望をおっしゃっていただければと思います。</p>
<p>⑩ 小倉南区には大きなホールがない。できれば、ひびしんホールのような300人規模のホールがあれば嬉しい。</p>	<p>貴重なご意見として承っておきます。</p>

平成25年11月18日(月) 小倉南会場(富士見ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
⑪ クルーズ船の誘致について、平尾台をアピールしてほしい。韓国から大勢の方が来て、楽しんだという実績がある。	クルーズ船のほかに外国人観光客に関する質疑もあり、平尾台が大きく取り上げられました。平尾台ではトレッキングという山登りツアーがあり、特に韓国人観光客に人気があります。平成24年度は9つのツアーに253名が参加。平成25年度は8月時点で、19本のツアーに543名が参加したとのことです。クルージングについても、門司港だけでなく、平尾台の魅力も合わせて発信していくことになると思いますので、地元におかれましてもよろしくお願い致します。
⑫ 現在の市民センターは、帯に短したすきに長しで使い勝手が悪い、というのが利用者の一般的な意見だと思う。まだ先かもしれないが、建て替えの時期が来たら検討してほしい。	貴重なご意見として承っております。
⑬ 長行小学校の下の交差点は、必ず赤信号で車が入ってくる。警察の仕事であると思うが、交通事故に関して警察と行政との意見交換の場は年1回でもあるのだろうか。	行政と警察との意見交換は、市民文化スポーツ局安全・安心課で行っています。
⑭ 議会報告会に来て、来場者が少ないと思った。せつかくこれだけの時間を使って、これだけの議員が集まっているので、もっと広報すれば関心のある方は来てくれると思う。	市議会もさらに広報に努めますので、皆さま方もご友人等にお声掛けいただければと思います。よろしくお願い致します。
⑮ 敬老祝金について、見直すという方向なのでがっかりした。民生委員の方が配っているが、とても喜ばれたという意見を多く聞いている。この年齢まで一生懸命働いてきた方たちに、せめて祝金をあげることをなぜ見直さないといけないのか。年をとっていくことが喜びに思えるような仕組みがあつてよいと思う。	敬老祝金について、どのように見直すかは定かになっていません。現在、喜寿に1万円、米寿に2万円、白寿に3万円、百歳以上は5万円となっています。老人福祉費全体に、34億円がかかっており、そのうち、祝金に2億4千万円が使われています。これから見直す場面で、ご意見があったことは私たちから申し上げたいと思います。

平成25年11月18日(月) 小倉南会場(富士見ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑯ 高齢者が増えているなか、最近「ホームページを見てください」と言われることが多くなった。かつては、公民館等に設置してあるパソコンでインターネットの閲覧ができた。最近では、情報管理や経費の問題もあるのだろうが、閲覧ができない。今は多くの方が自分のパソコンを持っているので、それを公民館等で実施の講座へ持って行く。その時にインターネット接続が可能な対策を講じていただければと思う。経費については、使用者の個人負担で、対処できるのではないか。</p>	<p>貴重なご意見として承っております。</p>
<p>⑰ 守恒サンリブの角の交差点は車が多く、渋滞することがある。子どもの事故も度々起きており危ない。どんな策が良いかわからないが、交通渋滞を緩和して、事故を減らすべく、努力していただけないだろうか。</p>	<p>この報告会には、報告者以外に、小倉南区選出議員も多く来ており、共通の課題として承りたいと思います。その場所は通行者も多く、危険な場所だと認識しております。ただ、交差点付近に空き地がなく、解決は難しい部分があると思いますが、貴重なご意見として承りたいと思います。</p>
<p>⑱ ごみ出しについては、カラスによる被害ではなく、カラスへの食品提供であり、カラスは悪いことはしていない。ごみ出しのマナーをどうしたらよいか、議論されているようだが、カラス被害という言葉は北九州市だけでも使わないでいただきたい。</p>	<p>カラスとは共存しないといけない、と考えています。1番良いのはゴミとカラスを接触させないことですが、これについては対策を含め、色々な議論があります。カラス被害という言葉をやめてもらいたいということなので、しっかりと検討していきたいと思います。</p>
<p>⑲ 葛原四丁目のあたりは山や田畑があったが、現在は宅地化されている。2年前の水害のときに、土砂崩れがあり、現在、集中豪雨が多いので、一丁目、二丁目付近については心配である。 また、田畑が非常に少なくなった。農家の方の高齢化や引き継ぐときの宅地並み課税等の問題があり、農業をやめざるを得ない状況である。環境の面からみても、市がもっと関わりをもって、考えていかなければいけないと思う。</p>	<p>貴重なご意見として承っております。</p>
<p>⑳ ギラヴァンツ北九州には1億1400万円を支出していると報告があった。市税は減っており、介護保険の要介護1、2は市の負担になっている問題もある中で、税金の使い道を市民本位にすべきではないかと思う。</p>	<p>貴重なご意見として承っております。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年11月19日(火) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① ごみ出しマナーのルール化について、ルールを守るということは、市民の善意に期待をするだけではうまくいかないのでは、ある程度の過料は必要ではないかと思う。現に、ごみのポイ捨てに対する過料もできており、ルール違反には過料があるということを市民がもう少し認識する必要がある。そのためには議会を通じて、啓蒙としての地域との対話が必要だと思う。</p>	<p>ごみ出しに関しては、モラルを守らない状況であれば、何らかのルールをつくるべきとの意見があります。ルールを守っている人たちのため、大きな後ろ盾になるルールをつくるべきとの議論が議会でも行われています。</p>
<p>② 決算の説明について、約5,500億円の予算・決算の規模であれば、55万円の家計に置き換えて説明するなど、市民に分かりやすく説明する工夫をお願いしたい。</p>	<p>議会報告会では、冒頭で予算・決算審査の報告が行われています。市民の皆さんにわかりやすいという点にポイントをおいた報告を、さらに検討していきたいと思います。</p>
<p>③ 老朽家屋等除却促進事業について、24年度の補助金執行率が36%と非常に低い。対策として、家主が市内にいない場合などは、ある程度の委任を認めるなど、手続きの簡素化を進めるべきではないか。</p>	<p>執行率が低い原因として、(1)補助制度を利用しても費用の自己負担があること(2)家屋を除却すると土地の固定資産税が上がること(3)所有者が亡くなっている場合、相続人全員の同意が必要なことなどがあげられます。このような課題を踏まえ、現在、空き家対策検討委員会において効果的な対策を検討しており、国も法整備に動き出した状況です。 また、25年度予算の同事業では、補助対象要件を昭和35年以前から、昭和56年以前の建築家屋とすることで、大幅に要件を拡充しています。</p>
<p>④ 防犯灯のLED化について、補正予算などの追加措置で一気にLED化を進めるということは考えてないのか。</p>	<p>現在の進捗率は、全体の約1/4という状況です。早急にこの事業をやって欲しいというご意見だと思うので、そういう意見も踏まえ今後議論していきたいと思います。</p>
<p>⑤ 家庭ごみについては、だいたい各町内の組が1単位になるように収集している。それが資源ごみになると広範な世帯数で1単位となり回収場所も変わる。先日、老人が離れた資源ごみのステーションに向かっている際、交通事故にあったようだ。このように危険な場所は、世帯数が少なくとも資源ごみのステーションを設置してほしい。</p>	<p>家庭ごみのステーションは、基本的に約10世帯に1つ設置しており、資源ごみとは別々になっているところがあります。しかし、そのような危険な場所であれば、環境局業務課へ相談し、家庭ごみと同じ場所にするなど資源ごみのステーションの場所を変更する対策は可能と考えます。</p>

平成25年11月19日(火) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑥ 子どもの学力は学力テストだけで測れるものではない。数値化されたものを基準にして対策を行い、結果に対し一喜一憂するよりも、子どもたちが豊かな教育環境で育つようにしていただきたい。そのためには、先生が子どもと向き合えるよう、35人以下学級の実施に予算を使って欲しい。1日の学習時間を増加させるより、しっかり遊ぶことが子どもの成長にとって大事だと思う。</p>	<p>学力テストの点数だけがすべてでない、ということは委員会のなかでも常に議論しています。教育の基本方針も学力だけを注視せず、知体徳、体力も徳育も調和のとれた人間形成を目指しているというところは、基本として変わっておりません。</p> <p>また、北九州市では35人以下学級を小学校3年生まで拡充しています。35人以下学級を行うには、市が独自に教員を雇用して補充しています。今後もこの35人以下学級を引き続きやっていきながら、授業内容の質の向上を行うため、北九州市は教員のマイスター制度、要するに指導力に優れた教員を先生の指導員として、授業改善の方策を行っています。</p>
<p>⑦ 放課後を活用した補習授業との報告だが、学校の授業の中で力をつけるということに目を向けていただきたい。家庭学習チャレンジハンドブックなど教材を印刷することにお金を使うより、1クラスの人数を減らし、授業の中で子どもが理解できるよう条件整備をして欲しい。遊ぶはずの放課後に、学力が下がっているから残って勉強するというのは、子育てに逆行するのではないか。</p>	<p>あと北九州市は、家庭での学習の量が全国と比べて非常に低いという部分も課題の一つとしてあるので、まずは学習の質と量の2つはどうしても取り組んでいかなければいけないと思っています。</p>
<p>⑧ 学力向上におけるマイスター教員について、マイスター教員が他の教員を指導し、教員の力量が上がると考えているところが学力観に対する大きな問題である。若い先生と年配の先生が交流しお互いの意見を吸収して、学校に活気がでてくると思うので、マイスター教員制度は学校にはなじまないのではないか。</p> <p>家庭学習について、宿題は日本では当たり前だが、学力テスト1位の東欧諸国ではランドセルもなく、子どもたちは家に帰れば家庭人としての役割を果たしている。宿題は全部学校でやる。子どもの24時間を考えて、どうすれば子育て日本一になるのか、しっかり議論して欲しい。</p>	<p>貴重なご意見として承っております。</p>

平成25年11月19日(火) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑨ 月初めに区役所へ行くと生活保護者が並んでいるが、その中にはすごく元気な方もいる。その方々に地域の公園の草むしりなど軽作業をやっていたらと非常に助かる。</p>	<p>以前は失業対策事業として草むしりなどを行う国の事業がありましたが、国はその事業を止めてしまいました。生活保護者に対し、軽作業をボランティアで行ってもらうという働きかけもあるのではと思います。 北九州市で生活保護を受けている人は、約24,000人います。そのうち働くべきとの指導をしている人が約3,600人。さらに全く勤労意欲がない人は約250人いるとのこと。 国会で生活困窮者自立支援法が成立した場合には、ボランティアでの軽作業を行う取り組みなどは議論することになると思います。</p>
<p>⑩ 行財政改革の一環として、給食調理業務を民間に委託している。給食は、ただ食べ物を提供しているだけでなく、子どもの体をつくるということで、お金には代えられないと思う。給食調理の民間委託は保護者として心配な気がしており、市の責任においてやって欲しい。また、校務員も行革の対象になっていたが、校務員は校舎を整備するだけでなく、子どもたちへ声かけをするなど教育の専門職の1つだと思う。他のところを削って教育の予算をしっかりと取っていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見として承っておきます。</p>
<p>⑪ 八幡東区では市立病院と消防署の移転が決まっているが、跡地利用について何か方向性が出ていたら教えて欲しい。</p>	<p>市立八幡病院については、昨年11月に尾倉小学校跡地への移転が決定しましたが、現在の八幡病院の跡地利用については決まっておりません。また、八幡東消防署の跡地利用についても決まっておりません。</p>
<p>⑫ 3月に議会改革協議会が設置され、そこで議員定数について話し合われていると聞いているが、その進捗状況を教えて欲しい。</p>	<p>議員定数については、前任期中(24年9月)に約48,000人の署名により、議員定数削減に関する直接請求がなされました。前任期中の議会改革協議会では、どのような議員定数が適当なのか具体的に議論する時間がなく、費用弁償、政務調査費、議員報酬等の見直しを行ったところです。 今任期では、3月に議会改革協議会を設置し、現在議論をしています。その進捗状況ですが、北九州市議会では議会基本条例のなかで、常任委員会を中心として運営する考え方を示していることから、常任委員会の委員数がどれくらい必要なのかということも議論しています。この報告会でもわかるように、政令市の業務量が非常に多いなかで、常任委員会はどのような活動を行うのか、委員数をどうやって決めるのか、しっかりと議論をしているところです。結論については、もう少しお時間をいただければと思います。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年11月18日(月) 小倉南会場(富士見ホール)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
<p>① 生涯学習センターや市民センターは、狭くて、利用者も多く、気軽に申し込めない。また、午後9時で利用をやめないといけない。規則がどうなっているのか教えて欲しい。</p>	<p>生涯学習センターについて、教育委員会へ確認したところ、回答は以下のとおりです。 生涯学習センターの申し込みについては、使用する日の前月の初日から受け付けており、小倉南生涯学習センターの大ホールについては、6ヶ月前の初日から受け付けております。 また、生涯学習センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとなっております。 その他、休館日やご利用に関することは、市のホームページ http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisetsu/menu06_0177.html 又は、http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/kyou-center-shougai.htmlをご覧ください。</p> <p>市民センターについて、担当局へ確認したところ、回答は以下のとおりです。 市民センターの利用時間及び休館日については、北九州市市民センター条例施行規則で次のように定めています。 【利用時間】午前9時～午後10時(土曜日は、午後5時まで) 【休館日】日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日) ただし、利用時間や休館日を変更している市民センターがありますので、詳しくは、各市民センターにお問い合わせください。 その他、ご利用に関することは、市のホームページ http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/file_0492.html 又は、http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/file_0493.htmlをご覧ください。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年11月19日(火) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
<p>① 市政だよりをみていると毎月人口が減っていることがわかる。この人口減少に対して、今年度はどのような対策をたてているのか？</p>	<p>担当局へ確認したところ、回答は以下のとおりです。 人口減少につきましては、全国的な傾向であります。都市の規模や活力などを示す指標でもあり、その対策は重要な課題であると認識しています。 本市としましても減少に歯止めをかけるために最大限の努力をしていく必要があると考えており、特にこれから就職し、将来家庭を持つ20歳代(特に20歳～24歳)の若い世代の関東・関西や福岡方面への流出を減らし、多くの方々に本市へ転入していただくことが重要と考えております。 そのためには、多様な雇用機会を創出していくことが最優先であるので、本年3月に「北九州市新成長戦略」を策定し、平成27年度までの3年間で8,000人の雇用創出を図っていく取組を進めているところです。 また、人口に関する施策を検討するにあたり、柔軟で新しいアイデアが必要と考え、様々な部署に所属する若手の市職員30名で構成する「人口問題庁内勉強会」を本年9月に発足させました。 本勉強会では、若年層を中心に各世代の方が本市に住みたくなる方策や、子どもを産み育てやすい環境づくりなどについて議論し、今後の取組むべき施策のアイデア出しを行い、本年中を目処に取りまとめ、効果が見込めそうなものについては、具体的な施策について検討を進める予定です。</p>
<p>② 八幡東区は高齢者の割合が高いが、八幡東区内に高齢者のスポーツ施設設置などの考えはないか？</p>	<p>担当局へ確認したところ、回答は以下のとおりです。 八幡東区には、北九州市の中核施設となる総合体育館に加え、八幡東体育館、桃園運動場、桃園球場、高炉台球場、大谷球場、桃園庭球場、桃園弓道場、八幡東柔剣道場、桃園市民プールなど様々なスポーツ施設があり、若者から年長者まで多くの市民の皆様にご利用いただいています。 特に65歳以上の皆様には、年長者施設利用証の提示で個人の利用料金が無料になる優遇制度を設け、より多くの高齢者の皆様に気軽にご利用いただけるよう工夫しています。 また、施設では、手すりの設置や、トイレの洋式化などを進め、高齢者の皆様や障害のある方が、不自由なく利用できるよう、ユニバーサルデザインに即した改修工事を順次行っているところです。 このように、高齢者の皆様にも、現在ある施設をご利用いただきたいと考えており、高齢者の方に特化したスポーツ施設の設置は考えておりません。 ご理解をお願いいたします。</p>

平成25年11月19日(火) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
③ 戸畑に図書館ができているが、もとの図書館はどうなるのか？	教育委員会へ確認したところ、回答は以下のとおりです。 戸畑図書館の跡地利用については、まずは、教育委員会内部での利用調整を行うとともに、市全体で市有財産の利用調整を検討する「市有財産利用調整会議」にも諮り、広く検討することになります。

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年11月19日(火) 八幡東会場(レインボープラザ)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	回答要旨(当日回答保留分)																				
<p>④ 旧戸畑図書館の手前にスポーツ施設ができているが、どのようなスポーツ施設ができるのか？</p>	<p>担当局へ確認したところ、回答は以下のとおりです。</p> <p>ご質問にある新しいスポーツ施設は、戸畑区内の老朽化した体育館や屋外プールなど9つのスポーツ施設を、戸畑区役所横、旧戸畑図書館手前の旧浅生小・中学校跡地や浅生球場のあるエリアに集約し、本市のスポーツの拠点として整備するものです。</p> <p>主な施設、工事予定は、以下の通りです。</p> <p>施設内容一覧</p> <table border="1" data-bbox="1182 598 2000 1090"> <thead> <tr> <th>導入施設</th> <th>規模など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">体育館棟</td> <td>体育館</td> <td>広さ：約1,500㎡、バスケット2面、又はバレー3面、又はバドミントン10面程度 他にトレーニング室、観客席など (空調設備導入)</td> </tr> <tr> <td>室内温水プール</td> <td>25m(6J-入、公認仕様)、幼児用プール、歩行用プール</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">武道場棟</td> <td>武道場</td> <td>柔・剣道場各2面 (空調設備導入)</td> </tr> <tr> <td>弓道場</td> <td>近的12人立</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>6面/オムニコート(うち2面は多目的利用)、弓道連の会場としても利用可</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>約140台(うち軽約10台)、自転車約40台、バイク約10台</td> </tr> <tr> <td>多目的グラウンド</td> <td>約90m×70m(グラウンドゴルフ2面可)、健康遊具、ジョギングコース1周約333m(3周約1km)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>広場、園路、休憩舎、ベンチ、遊具、植栽など</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成25年度 既存建物解体 ■平成26～27年度 建築物(体育館、屋内プール、武道場、弓道場等)、その他(テニスコート、駐車場等) ■平成28年度 一部供用開始(上記整備済部分) ■平成28～29年度 多目的グラウンド部分(浅生球場跡地) ■平成29年度末 全面供用開始 <p>なお、施設のイメージ図等については、本市ホームページ、または現地工事看板をご覧ください。</p> <p>問い合わせ先： 北九州市市民文化スポーツ局スポーツ振興課 (TEL 582-2395)</p>	導入施設	規模など	体育館棟	体育館	広さ：約1,500㎡、バスケット2面、又はバレー3面、又はバドミントン10面程度 他にトレーニング室、観客席など (空調設備導入)	室内温水プール	25m(6J-入、公認仕様)、幼児用プール、歩行用プール	武道場棟	武道場	柔・剣道場各2面 (空調設備導入)	弓道場	近的12人立	テニスコート	6面/オムニコート(うち2面は多目的利用)、弓道連の会場としても利用可	駐車場	約140台(うち軽約10台)、自転車約40台、バイク約10台	多目的グラウンド	約90m×70m(グラウンドゴルフ2面可)、健康遊具、ジョギングコース1周約333m(3周約1km)	その他	広場、園路、休憩舎、ベンチ、遊具、植栽など
導入施設	規模など																				
体育館棟	体育館	広さ：約1,500㎡、バスケット2面、又はバレー3面、又はバドミントン10面程度 他にトレーニング室、観客席など (空調設備導入)																			
	室内温水プール	25m(6J-入、公認仕様)、幼児用プール、歩行用プール																			
武道場棟	武道場	柔・剣道場各2面 (空調設備導入)																			
	弓道場	近的12人立																			
テニスコート	6面/オムニコート(うち2面は多目的利用)、弓道連の会場としても利用可																				
駐車場	約140台(うち軽約10台)、自転車約40台、バイク約10台																				
多目的グラウンド	約90m×70m(グラウンドゴルフ2面可)、健康遊具、ジョギングコース1周約333m(3周約1km)																				
その他	広場、園路、休憩舎、ベンチ、遊具、植栽など																				